

研究・調査報告書

分類番号	報告書番号	担当
A-161 A-179	23-057	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 三浦克之
題名 (原題/訳)		
Approaches and reporting of alcohol and other drug testing for injured patients in hospital-based studies: A systematic review 受傷者に対する病院でのアルコールおよび薬物検出方法についての系統的レビュー		
執筆者		
Lau G, Ang JY, Kim N, Gabbe BJ, Mitra B, Dietze PM, Reeder S, Beck B.		
掲載誌		
Drug Alcohol Rev. 2024 May;43(4):897-926. doi: 10.1111/dar.13816.		
キーワード	PMID	
アルコール検出方法、受傷者、病院、系統的レビュー	38316529	
要 旨		
<p>目的: 受傷者に対する病院でのアルコールおよび薬物検出方法について 2010 年以降に英国で公表された観察研究の系統的レビューを行う。</p> <p>方法: 受傷者に対する病院でのアルコールおよび薬物検出方法についての合計 83 研究について系統的レビューを行った。</p> <p>結果: アルコールを測定したのは 76 研究、薬物を測定したのは 37 研究であった。アルコールの検出値を定義しているのは 49 研究で、薬物の検出値を定義しているのは 7 研究であった。検出方法の記載はアルコールが 39/76 研究で、薬物は 18/37 研究であった。検出用試料の種類は大抵記載されており (アルコール 69/76 研究, 薬物 28/37 研究)、通常、アルコールは血液試料で、薬物は尿試料で測定された。測定有無の比率や測定タイミングは大抵報告されていなかった。</p> <p>結論: 受傷者に対する病院でのアルコールおよび薬物検出方法は様々で、報告も不十分である。検出方法に関する報告の標準化が必要である。</p>		